

樟蔭国文学

第 11 号

- 万葉集の「間」字の訓義をめぐって……………原 田 芳 起 (1)
——接続形態「あひだに」「ほどに」についての語彙論的考察——
- 八の宮の遺誠と大君……………久 保 重 (10)
——総角の巻私見——
- 源経信伝をめぐって……………安 田 純 生 (21)
- 中世草庵文学の系譜より見た『幻住庵記』……………竹 島 智 子 (30)
- 「枕草子」のひとつの魅力……………岡 廣 美 (37)
- 資料紹介
- 大西家蔵番外謡本 (五) ……………西 畑 実 (46)
- 『門外芸術』漱石号(大10・1) 目次……………嘉 部 嘉 隆 (29)
- 『愛聖』有島氏追憶号(大12・8) 目次……………嘉 部 嘉 隆 (45)
- 学 報…………… (55)